

厳 檀

第 82 号



奈良県立医科大学医学部医学科同窓会



目 次

巻頭のご挨拶	同窓会副会長（昭和57年卒）中林仁美	1
第15回 厳樞対談		
奈良県医師会会長 安東範明（昭和63年卒）×同窓会会長 高橋優三（昭和49年卒）		4
同窓会会員名簿（第14版）への広告掲載のお願い		8
令和7年 同窓会定例代議員会・通常総会のお知らせ 《特別企画》ホームカミングデイ		10
教授就任のご挨拶		
福井大学 学術研究院 医学系部門 内分泌・代謝内科学分野		
教授（平成8年卒）原田 範雄		11
教授退任に当たって	整形外科教室（昭和59年卒）田中 康仁	12
人との縁に支えられて～奈良医大退任に寄せて～	皮膚科学講座（昭和59年卒）浅田 秀夫	13
奈良医大での18年を振り返って	臨床数学講座 藤本 圭男	14
令和6年度「阪奈会」保険医療懇談会を開催	（昭和57年卒）澤田 秀智	16
奈良医大奈良地区同窓会 令和6年度総会	（昭和51年卒）井谷 均	17
きさらぎ会報告	（平成3年卒）村田 正典	18
平成2年卒業生 同窓会を開催して	（平成2年卒）玉置 伸二	19
昭和57年卒女子会の報告	（昭和57年卒）中林 仁美	20
「弓道部全医体優勝祝賀会」開催のご報告	（平成7年卒）杉江 和馬	21
第6回「奈良医大東大寺会」開催のご報告	（平成7年卒）杉江 和馬	
	（平成20年卒）江浦 信之	24
奈良医大卒業生による阪堺電車貸し切り乗車の集い	（平成22年卒）宮本真紀子	26
大相撲観戦記	（昭和57年卒）大林 千穂	27
医学生が新たな一步を刻む白衣授与式	（昭和49年卒）高橋 優三	28
大講堂最後の卒業式	（昭和49年卒）高橋 優三	29
令和6年度卒業式後謝恩会に出席して	（昭和44年卒）寺田 秀興	30
令和7年度入学宣誓式	（昭和49年卒）高橋 優三	31
老齡ドクターのそもそも談義	（昭和39年卒）山本 公弘	33
未来への飛躍基金だより		36
厳樞賞を受賞して	（令和7年卒）玉置 智隆	37
厳樞賞を受賞して	（令和7年卒）鈴木 慧士	38
告示：同窓会役員改選について・同窓会長選考細則		39
祝賀広告掲載のお願い		40
令和7年（第119回）医師国家試験合格率		41
同窓会だより・令和7年度同窓会準会員紹介		42
代議員氏名		43
各学年別終身会費完納率		44
理事会報告		45
物故者・編集後記		47
広告 「未来への飛躍」基金		

同総会報名「厳樞（いつかし）」の由来

厳樞とは、神聖な樞の木のこと、本学のある一帯は、古代に「厳樞がもと」と呼ばれていた。また、古代の人々は常緑で固い樞に託して「命の無事」を祈った。「厳樞がもと」にあり、「命の無事」に貢献する本学を表している。

同窓会 Web サイト

へのリンク →



◆表紙説明

【古都の花火】

大林 千穂（昭和57年卒）

若草山焼きオープニングの15分間、まずは大花火で盛り上がります。この写真は令和2年、天候に恵まれ、自宅マンションからiPhoneで撮影しました。ドーンッ！と開いては闇に静かに消える花々、その後は紅蓮の若草山をバックに興福寺五重塔のシルエットが美しく、古都の伝統行事を堪能しました。この年の春、コロナ禍により奈良公園から人が消えました。観光客に溢れる今年、塔はすっぽり覆屋に包まれて、令和13年までお預けです。

巻頭のご挨拶

同窓会副会長 中 林 仁 美

(昭和57年卒)



従来、「厳樞」の巻頭言は会長が書いてきましたが、高橋会長から副会長も書くように提案があり、第81号の寺田先生に続き、今号は私の担当となりました。

私は、2015年（平成27年）に同窓会の理事に就任し、2021年からは広報担当の副会長をしています。

私は、大阪市内で内科を開業しており、卒業後10年余大学に勤務していた時、若かった私に大学でしか経験できないような様々な仕事をさせて頂いたことなど、母校には感謝し、愛着を持っていましたが、長らく母校を

訪れることもなく過ごしていました。

理事会のために母校を訪れるようになり、春、飛鳥川の堤防の桜を久しぶりに見ました。大学勤務時代に所属していた病態検査学講座（現在、総合医療学講座に改編）の故中野博教授などと花見をしたことを懐かしく思い出しました。

同窓会というのは親睦会のようなものだと思っていましたが、理事会に参加するようになり、確かにその面もありますが、毎月1回集まって様々な課題について熱心に協議されていることを知りました。何より、役員の皆様の母校愛の強さに感銘を受けました。また、同窓会は大学に協力する組織ではありますが、時には大学がより良くなることを願って大学に意見を言う組織でもあることがわかりました。

広報担当の主な役割は同窓会報「厳樞」の編集・発行です。会報は、幅広い年齢層の同窓生を繋ぐ重要なアイテムであり、自分が担当するようになり、歴代の担当された先生方の御努力と原稿を寄せて下さった皆様により、今まで続いて来たことを改めて思いました。また、今後は同窓会のウェブサイトも充実させていきたいと思っています。

私は高校時代に文芸部に所属し、自分たちの書いた文章を集めてガリ版刷りの文集を作っていました。印刷技術はすっかり変わりましたが、長い年月を経て今「厳樞」を担当していることに縁を感じています。

今年は、同窓会名簿を発行する予定となっています。最近の名簿をデジタル化する同窓会もありますが、当会では理事会で協議の上、現段階では紙の名簿の発行が適当であると判断しました。名簿は皆様からの協賛広告料により発行します。経済情勢の厳しい昨今ではありますが、ご協力を何卒よろしくお願いします。

また、今年は、奈良医大の創立80周年であり、且つ新キャンパスがオープンした記念すべき年です。今秋発行予定の「厳樞」第83号は、「80周年・新キャンパス記念号」として発行する予定です。皆様からの資料の提供や寄稿をお待ちしています。